

# 月待ち信仰由来の美しい山名 秋山二十六夜山

実施日 2019年2月23日(土)  
 天候 曇り/晴れ  
 リーダー 峯川 弘子  
 参加者 石原勝正、宇野輝代、遠井謙作、  
 小名秀鋭、峯川弘子 計5名  
 費用 JR往復993円(八王子駅起算) 車  
 850円 計1,843円  
 タイム 浜沢バス停(9:25-10:50)二  
 十六夜山(11:00-12:00)尾  
 崎集落(12:25-13:32)寺下  
 峠(13:35-15:33)梁川駅

改修後できれいな上野原駅で合流、  
 天気が晴れに変わり復路は梁川駅ま  
 で歩くことに決定。

バス出発間際にご夫婦？が乗り込  
 んできた。(こまます  
 の二人と下山す  
 る命を共にす  
 運命を共にす  
 ることはこの時  
 点で誰も知らな  
 い笑)  
 浜沢バス停に到  
 着、アオゲラの

森キャンプ場奥からいきなり急登で  
 始まる、ヤマレコ通りかなりの傾斜、  
 心配した凍結はどこにもなくそれよ  
 り暑い！

1つのピークまで約20  
 分、登って休憩  
 は立ち休めを  
 繰り返して6  
 つ目でよう  
 やく二十六  
 夜山山頂へ。



こぶし会を  
 追い越したバスの二人が先着、聞く  
 と梁川駅まで同じ計画らしい。

写真を撮って頂きランチタイムに



は早いので尾  
 崎集落へ下山、  
 陽だまりで下  
 山をしながら  
 ランチをしい  
 峠へ向かう。  
 峠林道を歩い  
 て道

の入り口がわからず迷っている先行  
 の二人がいる、こっちですよーと教え  
 今度はこぶし会が先行。

登山道ははっきりし  
 ているが倒木をまたぎな  
 い。  
 河原を横切り飽きな



途中、後続の二人に  
 先に行ってもらい登  
 る。左側上部に青空が  
 見え峠に近づいたなと  
 思った時、前方には道  
 に迷った二人、ヤマッ  
 プを見せ進むこぶし会、その後を今  
 度は二人がついてくる。

だんだん滑りやすく細く危ない道  
 だなと思たらふみ跡がなくなっ  
 た、峠は左側上、こぶし会は右方向



へん巻くようにど  
 んど離れていた。分岐  
 を見逃した？戻  
 るか？後続の二人が「私  
 が先に登って見て  
 くるのでここで待  
 ってください。」頼  
 んでお言葉、GPS+ヤ  
 マップもこの左上  
 寺下峠の稜線で間

いない、戻るのも大変、待つよりこ  
 こを登ろう、ズルズル滑る土の傾斜を  
 つかめるだけの草木をつかんで皆必死  
 に登る。

上がりきると予  
 の寺下峠よりだ  
 ぶ東よりの稜線  
 に出た！全員で  
 し寺下峠へ向か  
 峠に着き登って  
 るはずだった道  
 確認するとま  
 に来れたら全  
 きやすい道だ  
 皆で爆笑！



反省をしながら梁川駅へ、二十六  
 夜山より寺下峠までの思い出が残  
 しい山行になりました。

### 【道迷いの反省】

人間の感と記憶はあてにならない。  
 先進の利器を信用する。迷ったら進  
 まず戻って軌道修正する、それでも  
 進む奴は置いていこう(笑)

(記&写真・峯川 弘子)

(写真提供・石原 勝正)